

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

記

1. 競争入札に付する事項

- (1) 入札件名: 「浄化槽の点検保守」
- (2) 仕様: 入札説明書による。
- (3) 数量: 一式
- (4) 作業期間: 2022年 4月 1日 から 2023年 3月31日
- (5) 作業場所: 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附504-36
公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター内指定場所

2. 必要書類等の提出場所等

- (1) 契約事項を示す場所及び入札説明書を交付する場所
郵便番号: 110-0015
所在地: 東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階
機関名: 公益財団法人核物質管理センター
担当部署: 総務部 契約課
フリガナ: タノ ミホ
担当者名: 太野 美穂
電話番号: 03-5816-7765
FAX: 03-3834-5265
Mail: mitano@jnmcc.or.jp
- (2) 入札説明書の交付期間
2021年12月24日(金) ~ 2022年 1月12日(水) 午後5時まで
- (3) 質問書提出期限(本入札に参加するには、期限までに質問書を提出すること)
2022年 1月14日(金) 午後4時まで
公益財団法人核物質管理センター 東京本部
総務部 契約課 必着(FAX・電子メール可)
なお、質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること。
- (4) 入札仕様書提出期限
2022年 1月21日(金) 午後4時まで
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着(電子メール可)
- (5) 入札及び開札の日時及び場所
2022年 2月 4日(金) 午前10時30分
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 3F会議室
なお、入札書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るように、東京本部
総務部 契約課まで 2022年 2月 3日(木) 午後5時必着とする。

3. 入札方法

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額（非課税分を除く）に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者か免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

4. 競争入札に参加する者に必要な資格

(1) 次の①～⑤に該当する者は入札に参加することができない。

①成年被後見人

②未成年者、被保佐人及び被補助人（契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。）

③破産者で復権を得ない者

④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者（代理人、支配人、その他の使用人として使用する者についても、同様とする。）

⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者

(2) 2021年度 国・地方公共団体等における競争参加資格（東北、関東・甲信越）の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

5. 入札保証金

免除する。

6. 入札の無効

入札参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

7. 契約書作成の要否

契約締結にあつては、契約書を作成するものとする。

8. 落札者の決定方法

予定価格の制限に達した入札者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

9. その他

詳細については、入札説明書による。

2021年12月24日

公益財団法人核物質管理センター
総務部長事務取扱
理事 小林 功

入札説明書

一般競争入札の詳細は下記のとおりとする。

記

1. 競争入札に付する事項

- (1) 入札件名: 「浄化槽の点検保守」
- (2) 仕様: 仕様書による。
- (3) 数量: 一式
- (4) 作業期間: 2022年 4月 1日 から 2023年 3月31日
- (5) 作業場所: 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字野附504-36
公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター内指定場所

2. 必要書類等の提出場所等

- (1) 契約事項を示す場所及び提出場所等
郵便番号: 110-0015
所在地: 東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階
機関名: 公益財団法人核物質管理センター
担当部署: 総務部 契約課
フリガナ: タノ ミホ
担当者名: 太野 美穂
電話番号: 03-5816-7765
FAX: 03-3834-5265
Mail: mitano@jnmcc.or.jp
- (2) 質問書提出期限 (本入札に参加するには、期限までに質問書を提出すること)
2022年 1月14日 (金) 午後4時まで
公益財団法人核物質管理センター 東京本部
総務部 契約課 必着 (FAX・電子メール可)
なお、質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること。
- (3) 入札仕様書提出期限
2022年 1月21日 (金) 午後4時まで
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着 (電子メール可)
- (4) 入札及び開札の日時及び場所
2022年 2月 4日 (金) 午前10時30分
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 3F会議室
なお、入札書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るように、東京本部
総務部 契約課まで 2022年 2月 3日 (木) 午後5時必着とする。

3. 入札方法

- (1) 請負金額一式とする。
- (2) 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額 (非課税分を除く) に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額 (当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。) をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者か免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

4. 競争入札に参加する者に必要な資格

(1) 次の①～⑤に該当する者は入札に参加することができない。

①成年被後見人

②未成年者、被保佐人及び被補助人（契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。）

③破産者で復権を得ない者

④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者（代理人、支配人、その他のとして使用する者についても、同様とする。）

⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者

(2) 2021年度 国・地方公共団体等における競争参加資格（東北、関東・甲信越）の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

5. 入札保証金

免除する。

6. 技術審査

提出された入札仕様書等は契約担当者において審査し、採用し得ると判断した入札仕様書等を提出した者のみ入札に参加できるものとする。

7. 入札及び開札

(1) 入札は契約の申込みとして取り扱う。

(2) 代理人又は復代理人（以下「代理人」という。）が入札する場合は、入札書（参考資料2）に、代表者の氏名（年間委任状が提出されている場合は当該代理人の氏名）及び法人名称もしくは商号、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名を記入して押印をしておくとともに、その者に対する委任状（参考資料1）その他これに準ずる書類をもって代理権のあることを証明するものとし、入札書と同時に提出することとする。

(3) 入札書の記載方法

入札は、すべて入札書で行う。入札書は横書、楷書で明確に記載し、数字はアラビア数字を用いて作成したうえ、封かんし、封皮には、自己の氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「何月何日開札、_____の入札書在中」と記入しなければならない。

郵便により提出するときは、二重封筒とし、入札書の中封筒に入れて密封のうえ当該中封筒の封皮には直接提出する場合と同様に氏名等を記入し、外封筒の封皮には、「何月何日開札、_____の入札書在中」と記入しなければならない。

(4) 代表者（年間委任状による受任者を含む）又は、その代理人（以下「競争入札参加者等」という。）は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。

(5) 競争入札参加者等は、その提出した入札書の差換え、変更、又は、取消をすることができない。

(6) 開札は、第2項第4号に掲げる日時及び場所で競争入札参加者等の立会いのもとに行うものとする。

(7) 競争入札参加者等が開札に立会わないときは、入札事務に関係のないセンター職員を立会わせて行うものとする。

(8) 競争入札参加者等が開札現場において、次の①～③に該当する行為があると認められたときは、入札から排除する。

①入札に際し、不当に価格を競り上げ、又は競り下げる目的をもって連合した者

②入札に参加することを妨げた者

③入札事務担当者の職務の執行を妨げた者

(9) 競争入札参加者等は、開札時刻後において、入札現場に入場することができない。

(10) 競争入札参加者等は、契約担当者が特に止むを得ない事情があると認めた場合のほか、入札現場を退場することができない。

8. 入札の無効

競争入札参加者等が次の各号の一に該当する場合における入札は、無効とする。

- (1) 第5項に掲げる資格を有していない者及び前項第8号に該当する者の行った入札。
- (2) 郵送により提出された入札書が所定の日時までには到着しなかったとき。
- (3) 提出された入札書が、その封筒の表記から当該入札の入札書であることが確認し難いとき。
- (4) 入札書の記載事項が不明なとき。
- (5) 入札書に記名、押印並びに代理人の場合は、代理人の表示がないとき。
- (6) 同一人が2以上の入札書を提出したとき。
- (7) 競争入札参加者等が他の競争入札参加者の代理人として入札書を提出したとき。
- (8) 前各号のほか、入札に必要な条件を備えないとき。

9. 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限に達した入札者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。落札者がいないときは、直ちに再度の入札を行うことがある。
ただし、郵便による入札があった場合は、別に定める日時に再度の入札を行う。
入札の回数は、原則として3回以内とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、競争参加者のうちから、くじにより落札者を決定する。
当該競争参加者のうち出席しない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のないセンターの職員がくじを引くものとする。
- (3) 前各号においても、センターの予定価格に達しない場合は、3回目の最低入札価格提示者と減額交渉を行うものとする。
- (4) 落札者が契約担当者の定める期日までに、センターが妥当と判断する理由により契約書の取り交わしをしないときには、落札者の決定を取り消すことができるものとする。
- (5) 労働者派遣契約の場合、6. の技術審査に合格したスキルシートに該当する派遣候補者が確保されていることが前提であり、落札後、スキルシートに該当する派遣候補者が派遣できない場合は、落札者の決定を取り消すことができるものとする。

10. 契約書の作成

本契約には、センターの定める契約条件による契約書を作成する。

11. その他

(1) 提出書類

- ① 2022年 1月14日（金） 午後4時まで（FAX・電子メール可）

・質問書（参考資料4）

- ② 2022年 1月21日（金） 午後4時まで（電子メール可）

・資格審査結果通知書（全省庁統一資格）等の写し 1部

・入札仕様書（参考資料5） 2部

・参考見積書（消費税が分かる内訳書含む） 1部

③入札・開札当日

・代理人が入札する場合は、その者に対する委任状（参考資料1）または、これに準ずる書類。

- (2) 入札に必要な費用は、全て入札者の負担とする。

- (3) 開示した資料・図面等は必ず返却する。

提出方法 (いずれか)	郵送、持参
押印の省略	不可

参考資料 1

(社員等が入札のつど代理人となる場合)

年 月 日

※提出日(郵送の場合は
発送日)を記入

委 任 状

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

私は、_____を代理人と定め、下記は一切の権限を委任します。

※代理人の氏名を記入

記

委任事項

2022年2月4日に行われる「浄化槽の点検保守」の入札に関する件について

代理人使用印鑑	印
---------	---

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いずれか)	郵送、持参
押印の省略	不可

参考資料 1

(支店長等が一定期間代理人となる場合)

年 月 日

※提出日(郵送の場合は
発送日)を記入

委 任 状

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

私は、下記の者を代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

記

代 理 人 住 所

※支店・営業所等の所在地を記入

会 社 名

※会社名及び支店・営業所等の名称を記入

代理人名

印

※代理人の肩書及び氏名を記入

委任事項

1. 入札及び見積に関する件
2. 契約締結に関する件
3. 契約代金の請求及び受領に関する件
4. 復代理の選任に関する件
5. 【その他、必要に応じて記載】

委任期間

〇〇年〇月〇日から〇〇年〇月〇日まで

代理人使用印鑑	印
---------	---

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いずれか)	郵送、持参
押印の省略	不可

参考資料 1

(支店等の社員等が入札のつど復代理人となる場合)

年 月 日

※提出日(郵送の場合は
発送日)を記入

委 任 状

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

※支店・営業所等の所在地を記入

会 社 名

※会社名及び支店・営業所等の名称を記入

代理人名

印

※代理人の肩書及び氏名を記入

私は、_____を復代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

※復代理人の氏名を記入

記

委任事項

2022年2月4日に行われる「浄化槽の点検保守」の入札に関する件について

復代理人使用印鑑	印
----------	---

【注意】 この場合、代表者からの代理委任状(復代理の選任に関する委任を含む)が必要

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いずれか)	郵送、持参
押印の省略	不可

参考資料 2
(代表者が入札する場合)

入 札 書

件 名 : 「浄化槽の点検保守」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年 月 日

※提出日(郵送の場合は
発送日)を記入

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

提出方法 (いずれか)	郵送、持参
押印の省略	不可

参考資料 2
(社員等の代理人が入札する場合)

入 札 書

件 名 : 「浄化槽の点検保守」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年 月 日

※提出日(郵送の場合は発送日)を記入

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

代理人名

印

※委任状に記載の代理人氏名を記入

提出方法 (いずれか)	郵送、持参
押印の省略	不可

参考資料 2

(支店等の社員等が復代理人として入札する場合)

入 札 書

件 名 : 「浄化槽の点検保守」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年 月 日

※提出日(郵送の場合は発送日)を記入

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

会 社 名

代理人名

印

※委任状に記載の代理人氏名を記入

復代理人名

印

※委任状に記載の復代理人氏名を記入

提出方法 (いずれか)	FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	可

参考資料 2(添付用)

※本書類は参考見積書又は入札書に添付してご提出ください。

公益財団法人 核物質管理センター 御中

契約者情報連絡書

年 月 日	
<p>契約書に記載する契約名義人情報を記載してください。 <u>(契約日が4月1日の場合は4月1日時点の契約名義人を記載)</u></p>	
所在地:	
名称:	
役職:	
氏名:	
<p>※契約名義人はセンターと契約締結をする代表者または代理人です。 変更があった場合は速やかに本書類の再提出をお願いします。</p>	
案件名	「浄化槽の点検保守」

※ 契約書の送付先を下記の欄に記載してください。

住所	(〒 -)
名称	
所属	
役職	
フリガナ	
氏名	
電話番号	- -
契約書 (希望する方に○ をつける)	紙の契約書で取り交わし希望 電子契約で取り交わし希望
電子契約書送 付先アドレス	@

提出方法 (いずれか)	FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	可

参考資料 3

入 札 辞 退 届

件 名 : 「浄化槽の点検保守」

上記の入札を都合により辞退します。

年 月 日

公益財団法人核物質管理センター

総務部長事務取扱

理事 小林 功 殿

住 所

会 社 名

責任者名

担当者名

連 絡 先

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いずれか)	電子メール、郵送、持参
押印の省略	可

参考資料 5

【入札仕様書作成例】 (表紙)

公益財団法人核物質管理センター殿

入札仕様書

件 名 「浄化槽の点検保守」

会 社 名 :

責任者名 :

担当者名 :

連絡先 :

提出方法 (いずれか)	電子メール、郵送、持参
押印の省略	可

(※変更点がない場合の記載例)

入札仕様書につきましては、2021年12月24日付
公示の仕様書のとおりと致します。

以 上

提出方法 (いずれか)	電子メール、郵送、持参
押印の省略	可

(※変更点がある場合の記載例)

入札仕様書につきまして、下記のとおり変更及び追加致します。その他につきましては、
2021年12月24日付公示の仕様書のとおりと致します。

記

頁	項	仕様書内容・(当センター配布)	変更内容または追加内容	備考 (変更理由、追加理由等)

以上

浄化槽の点検保守

仕様書

2022 年度

公益財団法人核物質管理センター

1. 目的及び概要

本仕様書は、公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター（以下、「RSC」という。）の浄化槽の点検保守について定めたものである。受注者は、本仕様書、設備の構造、取扱方法、関係法令等を十分に理解した上で、本仕様書に定める業務を実施すること。

2. 契約範囲

RSC 浄化槽の点検保守

3. 対象設備

フジクリーン膜分離活性汚泥方式 PMJ-A 型
117 人槽 汚水量：29.25 立米／日 1 基

4. 実施場所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附 504-36
RSC 内指定場所

5. 実施時期

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

6. 実施日

原則として、本業務を実施する日は、土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く日とする。但し、RSC は、状況に応じてそれらの日に本業務の実施を指示することができる。

7. 実施時間

原則として、本業務の実施時間は、8 時 45 分から 17 時 15 分までとする。但し、RSC は、状況に応じてそれ以外の時間に本業務の実施を指示することができる。

8. 点検保守内容

(1) 保守点検：月 2 回

(2) 浄化槽の清掃：年 1 回

(3) 浄化槽の膜清掃：年 2 回

(4) 法定検査の受検

- ・ 定期検査（浄化槽法第 11 条）
- ・ 年 1 回の浄化槽総合診断

なお、法定検査等の受検にあつては日程の調整、検査立会い及び検査料金の支払いを含むものとする。

9. 支給品及び貸与品

(1) 支給品

RSCは、本業務の実施に必要な電気等の消耗品を4. 実施場所において支給する。但し、当該作業に必要な部品は受注者が調達するものとするが、定期交換部品以外で交換が必要となったものについて、受注者はRSCにその費用を請求することができる。

(2) 貸与品

RSCは、本業務の実施に必要な設備等を4. 実施場所において貸与する。なお、本業務が全て終了した時点で、受注者は貸与品をRSCに返却するものとし、受注者は貸与開始から返却までの間、善良なる管理者の注意をもって貸与品を管理、取扱う義務を負う。

10. 提出書類

	書類名	提出時期	部数
1	品質保証計画書*	契約後速やかに	1
2	年間工程表	契約後速やかに	1
3	月例点検工程表	当月5日まで	1
4	安全管理責任者・作業責任者・作業主任者・有資格者届	契約後速やかに	1
5	保守点検報告書	点検終了後速やかに	1
6	終了届・検査調書	当該月の点検終了後速やかに	1
7	その他、RSCが必要に応じて提出を求めた書類	その都度 RSC が指定する期日まで	1

* ISO9001 の認証の写しの提出により替えることが出来るものとし、その場合の提出書類の承認は不要とする。

(提出場所) RSC 管理課

11. 検収条件

RSCは、10. 提出書類のうち、「保守点検報告書」及び「終了届・検査調書」により本仕様書に定める業務の終了を月毎に確認する。

12. 総括責任者

受注者は本契約業務を履行するにあたり、受注者を代理して直接指揮命令する者及びその代理者を選任し、次の任務に当たらせるものとする。

(1) 受注者の従事者の労務管理及び作業上の指揮命令

(2) 本契約業務履行に関するRSCとの連絡調整

(3) 受注者の従事者の規律秩序の保持並びにその他本業務の処理に関する事項

13. 契約不適合責任

- (1) 受注者は、当該業務について仕様書及び契約内容等との不一致（以下「契約不適合」という。）が発見されたときは、RSC の当該契約不適合にかかる請求に基づき、受注者の負担において RSC が定めた期限までに、業務の再履行その他必要な措置を執らなければならない。
- (2) (1) の請求は、RSC が当該契約不適合を知った時から 1 年以内に不適合の内容を受注者に通知する。ただし、当該契約不適合を知った時から 5 年を経過した場合もしくは検収後 10 年を超えて発見された契約不適合は除く。

14. 特記事項

- (1) 受注者は、本業務の実施で取扱いまたは知り得た情報、資料を RSC 外で発表、公開、若しくは第三者に提供または開示しないこと。
- (2) RSC は、本業務の実施中に受注者の作業員が受けた傷害又は災害に対し、RSC に起因する場合を除き、責任を負わない。
- (3) 受注者は、作業員に対し、本業務を安全かつ清潔に行うに必要な服装を適切に着用させるとともに、必要な教育等を予め実施すること。
- (4) 受注者は、本作業において電気機器を使用する場合は、全天候型の電源タップ・電工ドラムを使用して機器へ給電すること。
- (5) 受注者は、保安に関する RSC の指示に従うこと。
- (6) 受注者は、本業務の実施中に何らかの異常を発見又は異常発生のおそれがあると判断した時は直ちに RSC 管理課に通報し、その指示に従うこと。
- (7) 受注者は、本仕様書に定めのない事項、不明点が生じた場合、RSC と協議し、その決定に従うこと。
- (8) 受注者は、本作業の実施に必要な法的手続きの要否を確認し、必要である場合はその手続きを代行する又は RSC にその旨を報告すること。

以上